



アグリ筑西

2018 10月号

実りの秋になりました。収穫等で忙しい時期ですが、体調管理には十分に気を付けて作業しましょう。

県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)発行
Tel : 0296(24)9206 Fax : 0296(24)6979



筑西地域農業改良普及センターHPへアクセス！→

管内若手生産者が県施設野菜立毛品評会

において最優秀賞を受賞！！

茨城県施設野菜立毛品評会は、キュウリとトマトの促成及び半促成栽培を対象として毎年開催されており、今年で22回目となります。7月31日に全農いばらき農機総合センターにおいて、今年度の品評会の表彰式が行われました。表彰式では、32点が出品されたキュウリ部門において、JA北つくばきゅうり選果場部会所属の下条誠氏(35歳)が最優秀賞である農林水産大臣賞を受賞しました。この受賞は、果揃いや草勢のバランス等、下条氏の高いキュウリ栽培技術が評価されてのものです。

下条氏は、平成23年6月に親元就農して、父親から指導を受けながら栽培技術を磨いてきました。現在では、父親に代わって、JA北つくばきゅうり選果場部会の部会員として一家の経営を代表しています。

下条氏はこれまで、同部会青年部の活動にも積極的に関わり、仲間たちと日々情報交換を行ってきました。また、栽培技術や経営能力の向上に関する研修会や消費宣伝活動を通じて、次代の部会・産地を担っていくために切磋琢磨しています。普及センターでは、産地の活性化や施設野菜の経営の安定化を引き続き支援していきます。



表彰式の様子

JA北つくば花き部会新規者向け花き栽培説明会を開催！

～花き栽培を始めませんか？～

JA北つくば花き部会では、8月下旬に新規者向け花き栽培説明会を下館・岩瀬・明野・結城のJA各支店で開催しました。事前にJA広報誌や支店店頭において参加者募集を行い、当日は計8名の新規栽培希望者が参加しました。

説明会では、参加者からの「現在、ブルーベリーを栽培しているので労力競合しない品目で花き栽培を開始したい」、「全く農業経験がないけれど大丈夫か?」といった希望や不安に対し、JA担当者が個別に相談に乗り、各参加者に適した花き品目を提案しました。



説明会後には、さっそく、作付開始希望の連絡を頂いた方もおり、次年度の新規部会員の獲得に向けて、有意義な説明会となりました。普及センターでは引き続き、JA等と連携し花きの新規栽培者の確保のために活動していきます。花き栽培に少しでも興味がある方は、普及センター(担当:佐藤眞里)までお問い合わせください。

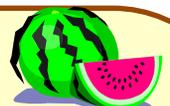


説明会の様子



若手農家対象の経営研修会を開催！！

～自身の農業経営を改めて見直しました～



8月29日、普及センターでは、管内の施設野菜農家の後継者ら6名（協和園芸4Hクラブ員4名、青年農業士2名）を対象に、自らの農業経営を考える情報交換会を筑西合同庁舎において開催しました。

今回の情報交換会は、新たな試みとしてワールドカフェ方式で行いました。ワールドカフェとは、リラックスした雰囲気の中で、1つのテーマについて参加者が少人数のグループで自由に対話を行うことで、参加者の自由な発想を引き出し、相互理解を深める討論方式です。青年農業士2名には参加者兼アドバイザーとして自身の経験を基に助言を頂くことで、若手農家の経営に対する新たな気づきを促し、農業経営に対する考え方の習得を目指しました。

参加者は、将来、親から農業経営を継承した後にどのように経営を発展・安定させていくか目標を立て、それを達成するための課題を付箋に書き、貼り出していくことで、考えを整理し、自身の農業経営における改善点を明確化していきました。さらに、労働力や栽培品目、作付面積などの観点から、自身の農業経営における問題点を再認識し、その解決に向けた今後の具体的な取組を共有しました。

普及センターでは、後継者が持つ課題の解決、夢の実現に向けて、施設野菜経営（こだますいか、トマト、ハウスレタス）における輪作作物の作付面積の適正化提案等により、経営の発展・安定化を支援していきます。



情報交換会の様子



トマトコナジラミ発生状況速報！！



～筑西市内において黄化葉巻病が発生しています～

トマト黄化葉巻病・黄化病への注意喚起を目的に、普及センターでは毎年トマトの半促成作型（5月～7月）と抑制作型（7月～9月）の収穫期間に、これらの病気を媒介するコナジラミ類の発生モニタリング調査（毎週1回実施）を行っています。

今作の抑制トマトにおける調査では、コナジラミ類の発生数は調査地点によって大きく異なり、特に筑西市桑山地区十里では発生数が多くなっています。また、コナジラミ類の発生数が多い筑西市桑山地区堀之内・十里・桑山においては、局所的に黄化葉巻病も発生しています。

コナジラミ類の発生数は地点により異なるため、自身の圃場付近での発生状況を把握することが重要です。引き続き、産地一体となった防除をお願いいたします。

表) 黄色粘着板片面1枚あたりのコナジラミ捕獲数(頭)

設置期間	筑西市					桜川市
	小栗	柳	桑山地区堀之内	桑山地区十里	桑山地区桑山	真壁町下谷貝 稻荷山
7/24～30	4	2	154	283	118	
7/31～8/6	8	0	183	1778	163	87
8/7～13			216	1841	136	92
8/14～20	7	18	175	936	92	104
8/21～27	5		47	305	15	38
8/28～9/3	8	1	68	341	33	68
9/4～11	3	1	67	442	48	
9/12～18	1	15	72	729	46	



タバココナジラミ
(体長約1mm)

普及員のひとりごと ～鈴木宏往～

今年の四月から、筑西普及センターで勤務させて頂くことになりました。茨城県内でも有数の農産物の産地であるこの筑西市で、農業の普及活動に携われることに、喜びと充実感を感じております。知識・経験共に未熟ではありますが、普及活動に携わらせて頂くために精一杯の努力をして参りますので、よろしくお願いたします。

編集後記

若手農家対象の経営研修会では、クラブ員の農業に対する熱い想いを聞くことができました。若手農家の夢の実現に向けて、全力でサポートしていきます。今瀬

皆さまからのご意見・情報をお待ちしております。